

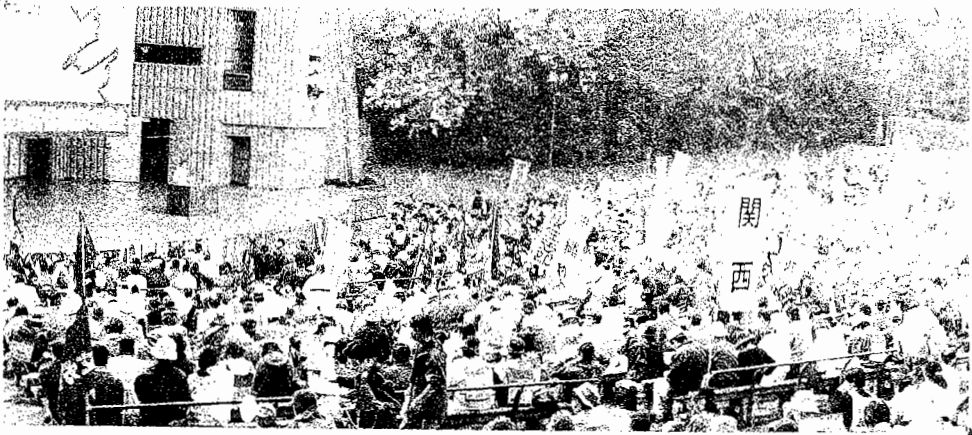


月刊 千葉労働

「11・8労働者全国総決起集会」は、動労千葉、港合同、関西地区生コン支部の三組合を先頭に、全国から熱い思いを胸に

全国の仲間 大合流する！

11・8全国労働者総決起集会
動労千葉・港合同・関西生コンと



「11・8労働者全国総決起集会」は、動労千葉、港合同、関西地区生コン支部の三組合を先頭に、全国から熱い思いを胸に結集した闘う仲間が日比谷野音をうづめた。大失業攻撃と戦争の危機が日々深まる中、広範な労働者の中に、「今たかかわなければ」という危機感が高まっている。しかし、連合支配の下で、今だ労働者の有効な反撃には到っていない。こうした状況を突き破り、必ず労働者の総反乱を実現していくという決意がみなぎっていた。そして全参加者は、誓いあった。99年、「闘う労働者の大同団結」をつくりだそうと。新たな進撃の開始を恐れた警視庁は、異例の弾圧体制を敷いたが、全参加者の固いスクラムに一指も触れることができなかったのである。

動労千葉は、物販や諸闘争の連続闘争をやりぬきながら、「11・8」大結集の目標を断固つらぬき、港合同、関西生コン支部との連帯のきずなをしっかりと結んできたところである。確信も固く99年の勝利につき進む。全支部、全参加者の皆さん、大変ご苦労さまでした。

たたかう労働組合の

大同団結へ始動！

三組合の力強い決意 (要旨)



時代に立ち向かう闘う戦線を

— 港合同・辻岡執行委員

11・8集会に闘う労働者が結集し、参加者のすべてが主催者となつて成功をかちとつた意義はきわめて大きい。今ほど本当に闘う労働者の存在が求められているにもかかわらず、現状は体たらくの姿をさらけ出している。こうした状況を何としても打開しよう。労働法制の改悪や反動立法に対する闘いは、全国的な労働者、民衆の闘いが必要である。労基法改悪への闘いを更に展開しよう。

われわれはいかなる攻撃と妨害にも屈しない決意で、この不況の時代に立ち向かっていく決意です。共に闘いましょう。



労働運動再生ののろし

— 関生支部・増田執行委員

偽装倒産に対し、「労働者は泣き寝入りをしてはいけない」という闘いを三十年間展開している。今日、大単産の労働組合の幹部は、中小零細組合で働く仲間の厳しい状況を一顧だにせず、労基法の改悪を手助けしたり、安保を容認するといった現状をうち破るために、闘う労働組合がそれぞれの思惑を超え、労働者が社会の主人公となる社会をめざし、手を携え闘っていく。

権力は私たちの闘いが日本階級闘争の再生ののろしになることを恐れている。共闘を深め、全国の労働者に発信できる運動体となつていくよう努力したい。



密集する反動をうち破り

勝利の大道を

— 動労千葉・中野委員長

三組合の呼びかけに賛同していただいた労組は百十二、さらに個人で百六十人の方が賛同してくれた。そのうえに本日の集會が意気軒高と大成功にかちとられている。この意義をしっかりと確認したい。

民間で奮闘されている港合同、関生支部の仲間と国鉄労働運動と一緒に手を携えて、日本の労働者の未来を切り開くために奮闘すること一致したわけで、感動をこめてこの重大性を確認したい。

本日の集会を発火点として、労働法制改悪と闘い、労働者の戦争動員阻止の闘いにも立ちあがろう。首切り反対闘争を勝利させていくためにも、ガイドライン、有事立法反対等々の闘いを、一体的に推し進めなければならぬ。そして経済危機がますます深まる中で来年の99春闘もきわめて重要な課題である。三組合は、団結を固め、春闘を再生する意気込みで全力で闘う。99年勝利へ、共に闘おう。